

LIBRARY 通信

第 3 号
沖縄カトリック中学高等学校
図書室発行
2022 年 6 月 29 日

長かった梅雨も明け、夏本番が近づいてきました。クーラーの設定温度が 26 度の図書室ですが、入ってくるなり『涼し〜！快適』『ずっと居た〜い。』と生徒たちの声・こえ・コエ。梅雨時は、教室からの移動が億劫だったのでしょ。なかなか図書室に足を運んでくれなかった生徒たちでしたが、7 月は図書室の利用が増えるのでは？と秘かに期待しています。

～お薦めの本の紹介～



『散歩が楽しくなる空の手帳』

森田正光／作
東京書籍

黄砂は平安時代から飛んでいた？ひつじ雲が出ると翌日は雨？空はなぜ青い？などなど、思わず「へえ〜」とうなってしまう身近な空や雲、天気にもつわるなるほど雑学に、ことわざや俳句を加えて、美しい写真とともに紹介する手帳です。梅雨明け後のうだるような暑さに少々辟易気味ですが、この手帳を片手に空に浮かぶ白い雲をぼーっと眺めるのもよいかなと……。

『バナナの魅力を 100 文字で伝えてください～誰でも身につく 36 の伝わる法則～』

柿内尚文／作
かんき出版



人に伝えたいことがなかなか伝わらないと、悩んでいる人はいませんか。この本は編集者として数々のベストセラーを出してきた著者が、伝え方の仕組みやノウハウを教えてくれる実用書です。

自分が伝えたいことを「伝える」のではなく、相手が理解できるように「伝わる」ことが大切で、そのための構造と技術を七階建てのビルに例えたり、「フリオチの法則」などのユニークな法則をあげ、わかりやすく教えてくれます。事例は社会人向けですが、十分参考になりますよ。

すでに借りて読んだ生徒さんもいま～す。

『地球で暮らすきみたちに知ってほしい 50 のこと』

R ラース・ヘンリック・オーゴード／作

枇谷玲子／訳

晶文社



宇宙に散らばる星の数、海や山はどうやってできたのか、絶滅したり、今も生きているいろんな動物のこと、人間の発明や社会の問題、お金持ちや有名人になりたい？君自身の人生についてまで、50 の疑問に答える SDGs 先進国デンマークの〈科学教養〉です。

『さばの缶づめ、宇宙へいく』

小坂康之 林公代／作

イースト・プレス

宇宙飛行士の野口聡一さんが宇宙ステーションの中で食べて絶賛したサバの缶づめは、福井県の高校生が開発した宇宙食でした。福井県名産のサバが宇宙に上がる道のりは、長く厳しいものでした。NASA の厳しい衛生基準クリアをはじめとして、予算不足や開発難航、そして学校は統廃合の危機に……。地元愛とチャレンジ精神で大きな夢をかなえた高校生と、それを見守り続けた教師や周囲の大人たちを描いた科学ノンフィクションです。

～5 月の各クラスの貸出冊数～

